



2026 年 2 月 19 日

各 位

会 社 名 横浜ゴム株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 山石 昌孝
(コード: 5101 東証プライム)
問合せ先 IR 室長 藤原 康俊
(TEL. 0463-63-0427)

中期経営計画「Yokohama Transformation 2026」(2024~2026年)における 最終年度の財務目標の見直し(上方修正)に関するお知らせ

当社は、2024 年 2 月 16 日に公表し、同年 8 月に一度上方修正を行いました 中期経営計画「Yokohama Transformation 2026 (YX2026)」(ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーロク)の財務目標を、足元の好調な進捗を踏まえ、下記のとおり上方修正しましたので、お知らせいたします。

1. 見直しの理由

当社は、2024 年度より開始した中期経営計画「YX2026」において、既存事業における強みの「深化」と新しい価値の「探索」をさらに推し進め、次世代に負の遺産を残さないという強い意志を持って変革の「総仕上げ」に取り組んでいます。こうした考えの下、各事業で定めた成長戦略を断行し、「Hockey Stick Growth」(「うなぎ昇り」の成長)を果たすことを目指しています。

当社は 2024 年 8 月、当初の 2026 年度経営目標(売上収益 1 兆 1,500 億円、事業利益 1,300 億円)を、売上収益 1 兆 2,500 億円、事業利益 1,500 億円へと引き上げましたが、YX2026 で掲げた「Best Alternative 戦略」が、当社全体で成果を創出し収益構造が転換していることに加え、以下の要因によりさらなる上振れを見込んでいることから、再度上方修正いたします。

- ザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー社の鉱山・建設車両用タイヤ事業の買収完了による収益貢献の本格化
- タイヤ消費財における需要を上回る販売数量成長や、高付加価値商品比率の向上
- オフハイウェイタイヤ(OHT)における農業機械用タイヤのシェア拡大
- 「技術・生産改革」に基づく抜本的コストダウンの当初想定以上の進展
- グローバルな生産体制の強化と構造改革の推進

2. 財務目標の変更内容

財務目標(2026 年度)

	当初	変更前	変更後
売上収益	1 兆 1,500 億円	1 兆 2,500 億円	1 兆 3,000 億円
事業利益	1,300 億円	1,500 億円	1,880 億円
事業利益率	11%	12%	14.5%
自己資本比率	50%を目安	50%を目安	50%を目安
ROE	10%超	10%超	10%超

以 上